

ふるさと教育 取組事例

学校名	美郷町立邑智中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	総合的な学習 の時間	2年生地域探検	地域指導者・地域コーディネータ 町内の見学地（神社、寺、橋など）
ねらい		豊かな自然や伝統・文化、産業、そこに携わり、地域に貢献している人々の姿など、地域の認識を深め、ふるさとの良さを体感することができるようにする。	
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒32名が居住地ごとに5グループ（浜原・吾郷・粕淵・沢谷・君谷別府）に分かれ、各地域指導者の方と共に地域探検を実施した。また、事前の計画作りと地域探検当日、発表会の計3回、生徒に直接関わっていただいた。 大和中校区からの通学者が32名中7名いるため、生徒を浜原・吾郷・君谷別府の3地域に振り分け、地域の生徒と一緒に活動した。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から） ふるさを多面的にとらえ、問題を解決する能力を付けるために、ふるさとは、自然や文化、人材等に恵まれていることに気付かせ、それらと直接触れ合い実感をもって学ぶことで、学習意欲を醸成すること。</p> <p>（学力育成の視点から） 習得した知識や技能などを学習や生活の様々な場面で実際に生かしていく力を付けるために、課題を明確にして学習に取り組むこと。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p>（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から） 生徒は地域について漠然とは知っているものの、具体的な見どころやその価値をよくわかっていない。地域指導者の方から地域の魅力といえるスポットや、その歴史や地域とのつながりについて教えていただくことで、地域の魅力やその価値を理解する第一歩になった。</p> <p>（学力育成の視点から） 学習課題を明確にすることで、生徒が目指すところがはっきりして既習知識や技能を用いやすいようであった。SNSを活用して学んだことを広報することが有効であるかどうかについて検証するなど、生活の場面で実際に活かしていこうとする姿が見られた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域指導者の方が都合の良い日と、学校の都合の良い日との調整が極めて難しい。生徒と地域指導者の方との打ち合わせを授業の一環として行う場合は、全地域の都合が合わねばならず、そのような時間が確保できなかった。 今年度は大和校区の生徒の各地域への移動や、当日の具体的な安全対策（地域探検当日は気温が高く熱中症の心配があった）を地域にお任せすることとなり、本来の地域指導以外の負担をかけてしまった。 			

